

超人気FP!

— ABC ネットニュース —

深野康彦の 先取り経済NEWS!!

編集・発行 株式会社 アサヒ・ビジネスセンター 2016年8月9日

今月のトピックス 「地方銀行のインターネット支店に高金利あり！」

期待された7月最終週の日本銀行の金融政策決定会合は、ETF（上場投資信託）の年間買入額の上
限を3兆3000億円から6兆円に引き上げただけだったことから、小粒の金融緩和に終わったと言われます。ですが、前向きに捉えれば切れるカードを残したともいえるため、今後も折に触れて日本銀行の金融政策決定会合は注目されることでしょう。

国債の買入額の引き上げやマイナス金利の深堀りがなかったことから、このコラムを書いている8月初旬時点では、長期金利は低下していません。預貯金などには朗報と言えるでしょうが、今後の金融政策次第では、さらなる金利の低下もないわけではありません。メガバンクを始めとする大手銀行の定期預金金利は、1か月から10年物まで全期間0.01%。引き下げ余地はないのでは？と思われるかもしれませんが、普通預金金利はさらに低い0.001%。つまり、普通預金金利までの0.009%も引き下げ余地があることになります。

ミクロの議論を深堀りしても仕方ないのでこのあたりでやめておきますが、預貯金で少しでも高金利を期待したければ、インターネット専業銀行よりも地方銀行のインターネット支店の定期預金に注目すべきでしょう。表は2016年8月初旬現在、高金利を提示している主な銀行の金利です。最も高い金利を提示しているのは、愛媛銀行四国八十八か所支店の「だんだん定期預金」、高知銀行よさこいおきゃく支店の「よさこいおきゃく定期」で、預入金額100万円までは、0.30%の金利を提示しています。両銀行の四国八十八か所定期、よさこい定期でも1年～3年まで0.25%を提示していますので、100万円を超えたお金はこちら

主な高金利定期預金

	6か月	1年	2年	3年	5年	10年
愛媛銀行 四国八十八か所支店 (だんだん定期)	0.25% 0.22%	0.25% 0.22%	0.25% 0.25%	0.25% 0.25%	0.10% 0.10%	
	0.30%(100万円)					
高知銀行 よさこいおきゃく支店 (よさこいおきゃく定期)		0.25% 0.22%		0.25% 0.25%	0.10% 0.10%	
	0.30%(100万円)					
香川銀行 セルフうどん支店 (超金利トッピング定期)		0.20% 0.20%	0.20% 0.20%	0.15% 0.15%	0.10% 0.10%	
	0.25%(100万円)					
トマト銀行 ももたろう支店 (スペシャルきびだんご定期)		0.20% 0.20%		0.20% 0.20%	0.10% 0.10%	
	0.25%(100万円)					
オリックス銀行	0.15%	0.20%	0.20%	0.20%	0.20%	
三菱東京UFJ銀行 (参考)	0.01%	0.01%	0.01%	0.01%	0.01%	0.01%

※・金利は2016年8月1日現在、上段は預入金額300万円以上、下段は預入金額300万円未満の適用金利
・オリックス銀行の金利は預入金額100万円以上、300万円以上、1000万円以上全て同一金利

らの定期預金を利用すればいいでしょう。その他、トマト銀行ももたろう支店の「スペシャルきびだんご定期」、香川銀行セルフうどん支店の「超金利トッピング定期」などが高金利を提示しています。

高金利を提示している銀行の大多数は地方銀行です。それは、地方銀行がある地域のほとんどは人口減少により今後預金者が増える見込みがないこと、さらに、相続が発生するとかなりの預金が出てしまい地域密着だけでは預金を増やすことが難しくなっていることなどから、インターネット支店を通じて店舗がある地域外から預金を集めようとしていると言われていています。20世紀の終わりには、高金利を提示している銀行は訳あり（経営が危ないために高金利で預金を集める）と言われていましたが、そのような訳ありとはニュアンスが異なるので安心できます。

投資を行っている人から見れば、大したことはないと言われそうですが、100万円を1年間預ければ、メガバンクの定期預金と2400円～2900円の利息の差がつきます（税引前）。預入金額が多くなれば、あるいは超低金利が長期化すればその差は年々大きくなっていきます。日本銀行がさらなる金融緩和のアクセルを踏み込む前に預け入れを考えてもいいかもしれません。